

## 平成 27 年度第 3 回協議会以降に実施した事業について

## 1 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ

## 「ココロン・カフェ」

## (1) 実施日時及び参加者数等

## ① 第 9 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 7 月 6 日（月）14：00～16：00

場 所：仙台市福祉プラザ 1 階プラザホール

参加者：72 名（10 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（柴田委員、千葉委員、早坂委員）

## ② 第 10 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 7 月 18 日（土）14：00～16：00

場 所：仙台市立病院 3 階講堂

参加者：61 名（10 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（市川委員、黒瀧委員、杉山委員、千葉委員、畑中委員）

## (2) 実施内容

## ① はじめに

## ② 仙台市説明

- ・障害を理由とする差別の解消を推進するための取り組みについて
- ・障害者施策推進協議会で検討された内容について

## ③ ワークショップ

- ・グループワークによる意見交換

「自分にとって身近に相談できる場所はどこだろうか？」

「差別があったとき、どんな相談支援があるといい？」

- ・意見発表

## (3) いただいたご意見等

## ① 自分にとって身近に相談できる場所はどこだろうか？

- ・ 家族
- ・ 友人
- ・ 区役所
- ・ 相談支援事業所
- ・ いつも行っている学校や職場、施設
- ・ 地域の民生委員、保健師
- ・ 当事者団体、支援団体

- ・ 病院の先生
- ・ ヘルパー、訪問看護師
- ・ ピアカウンセラー
- ・ サロン等、顔見知りの人が集う場所

## ② 差別があったとき、どんな相談支援があるといい？

### ○ 相談したことが解決できること

- ・ 相談したことについてはきちんと解決まで導いてほしい。
- ・ 相談したときにすぐに動いてくれたり、レスポンスの速さが重要。
- ・ 相談窓口は、相談を受けてから解消に向けた動きをるところまでつながっていて、最終的に相談がどうなったかがフィードバックされるころまで一本化されることが望ましい。
- ・ 身近な友人に相談するが実際には解決につながらないことが多いので、行政機関の役割は大事。
- ・ 調整やあっせんをしてくれるところにきちんとつないでほしい。

### ○ いろいろな媒体で、いつでも、障害種別に関わらず、匿名でも、わかりやすい相談窓口

- ・ 電話、メール、FAXなどの媒体を通じて、24時間体制で相談できる仕組みがあるといい。
- ・ 障害種別に関わらずワンストップで相談できるといい。
- ・ 匿名で相談できる場所があるといい。
- ・ 差別110番のようなわかりやすい窓口が必要。

### ○ 共感をしてくれる人が集まっているところは話しやすい

- ・ コロン・カフェのように福祉に関心がある人が集まっている場では安心して話ができる。
- ・ 障害のあるなしに関わらず、同じ状況で困っている人には相談しやすい。
- ・ 悩みや生活のしづらさを一緒に共有できるピアサポーターがいるといい。

### ○ 当事者同士で相談できると、悩みの共感を得られやすい

- ・ 同じ悩みを持つ当事者同士が集まって自由に相談できる場所があるといい。
- ・ 個人がなかなか相談しにくいことも、当事者団体を通すと相談しやすい。

### ○ バリアフリーな環境、情報保障

- ・ 場所があっても環境的にバリアフリーじゃないと行けない。
- ・ 聴覚に障害がある場合、相談に行っても通訳がないと断られたり、相談したいことが伝わらなかつたりするので、各分野の相談機関に手話通訳を置いてほしい。

### ○ 相談を受ける人に求めたいこと

- ・専門的な情報を持っている人がいてほしい。
- ・自分の障害について理解してくれる人がいないと話しづらい。
- ・否定せず悩みをきちんと聞いてもらえるといい。
- ・相談があるならどうぞと、受け身の対応をされると相談しにくい。
- ・自分ひとりでは相談したいことを整理できないこともあるため、何を解決したらいいかを一緒に整理してもらえるといい。
- ・間を取り持つような役割をしてくれると有難い。
- ・相談を受ける側が忙しすぎて聞く耳を持ってないこともあるので、チームで対応していくということが必要ではないか。

#### ○ 何回も同じ話をしなくて済むようにしてほしい

- ・一度相談に行って、別の窓口に行ってくださいとなると、また一から話をしないといけない。一人の人が担当してくれて同じ話をしなくても状況が伝わるといった対応があると相談しやすい。

#### ○ 支援者や関係機関のネットワークが必要

- ・一機関で対応するのではなく、各機関が連携して互いの専門性を活かし合う体制が必要。
- ・支援者ネットワークの中に障害特性を熟知した調整役を担う機関が必要不可欠ではないか。
- ・相談を受ける側の情報の共有、提供など横のつながりのコーディネートができるといい。

#### ○ その他

- ・地域の相談支援事業所に相談したいが電話がつながらなかつたり外出中のことがあるのでいつでも相談ができるように体制を強化してほしい。
- ・地域の中になんでも気軽に相談できる「地域の保健室」のようなところがあるといいのでは。
- ・地域の身近な相談相手として民生委員の存在は重要。
- ・当事者にとっての相談窓口と家族にとっての相談窓口は役割が違う。
- ・なんでも聞いてくれる総合的な窓口と差別専門の窓口が両方あると安心。
- ・よく知っている人だと相談しにくく、距離がある人のほうが相談しやすい場合もある。相談できる選択肢がたくさんあって選べるようにできるとよい。  
なかなか窓口に行けない人たちへの支援も必要。
- ・相談窓口の一覧表（パンフレット・小冊子）があるといいのでは。
- ・どこに相談したらいいか相談場所について適切にアドバイスがもらえるような仕組みがあるといい。

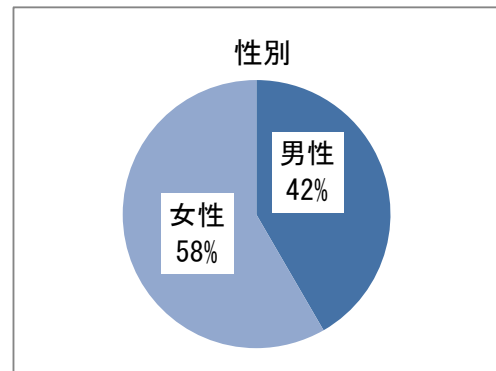
(4) 実施状況について (アンケート結果より)

【第9回ココロン・カフェ】

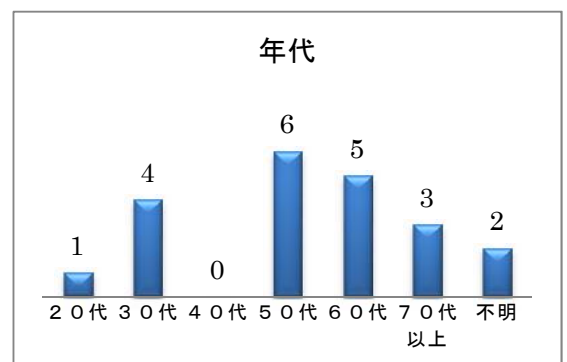
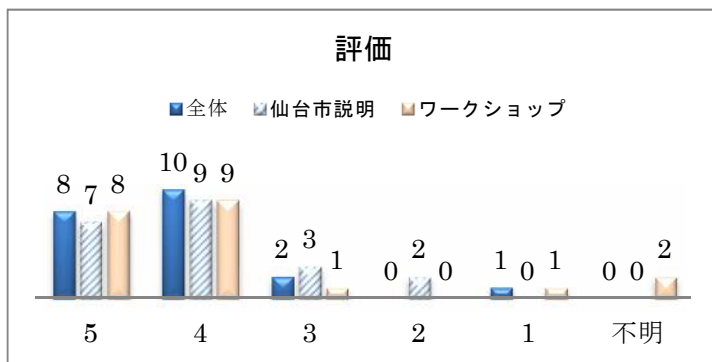
○ 参加者数

男性	女性	合計
30人	42人	72人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者
- ・ 学校関係者 など



○ アンケート結果 (回収 21 人:男性 4 人/女性 15 人/不明 2 人)



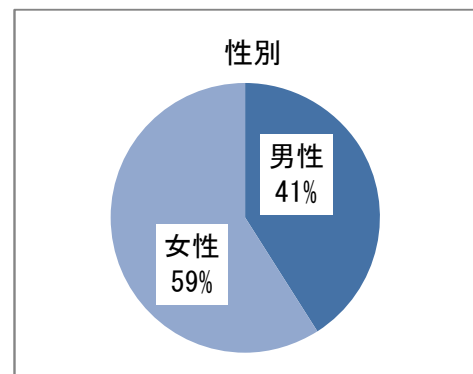
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

【第10回ココロン・カフェ】

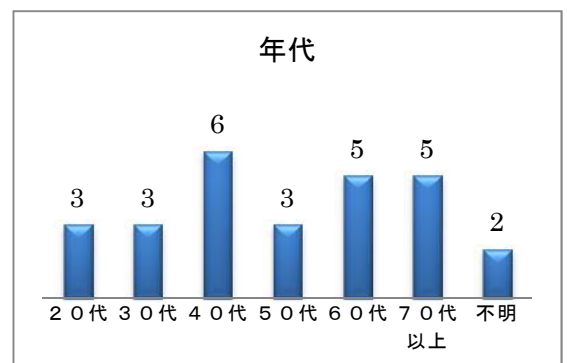
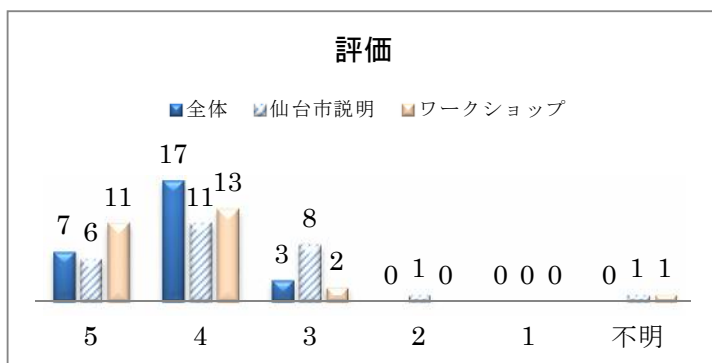
○ 参加者数

男性	女性	合計
25人	36人	61人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者
- ・ 学生 など



○ アンケート結果 (回収 27 人:男性 9 人/女性 15 人/不明 3 人)



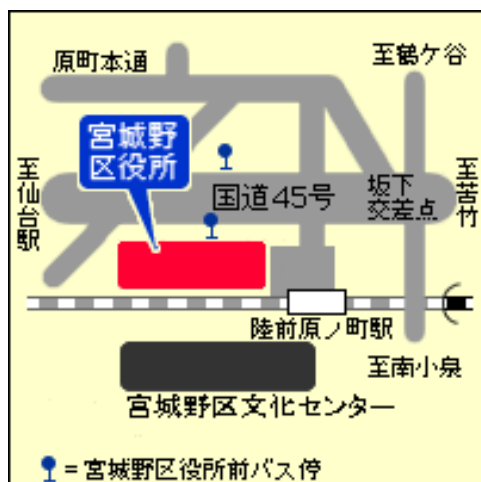
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

## ○アンケートの主な感想・意見等

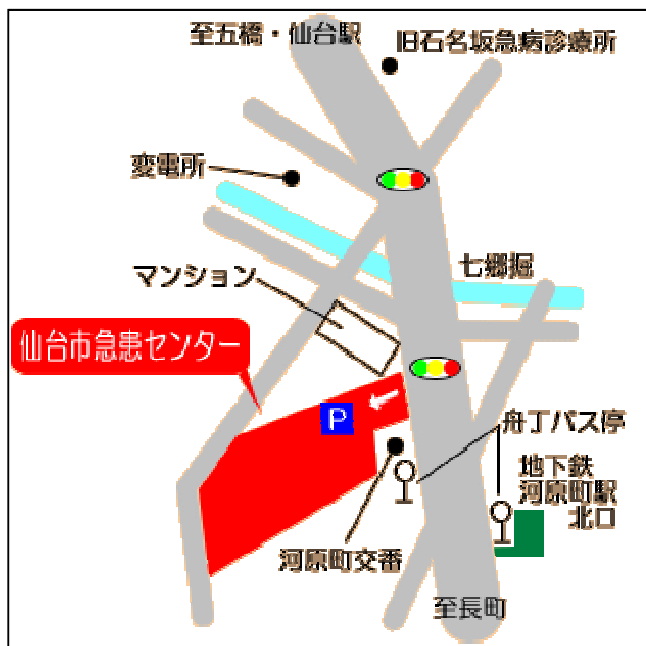
- ・初めてでしたが、とても話しやすい雰囲気でした。
- ・健常者に参加していただくのではなく、障害者が学校関係などに行き、理解していただいたほうがいいのではないのでしょうか。
- ・気軽に相談できる場、地域に対して「自分事」として考えて話せる場としてココロン・カフェは今後も続けてほしいです。
- ・誰にとっても考えやすく話しやすいテーマを設定して下さっていて良かったです。
- ・前向きな取り組みがあり、とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・障害種別をまとめるか、ばらつかせるのか検討してみたいかがでしょうか。
- ・参加人数が多いときの時間配分を検討してほしいかがか。
- ・いろいろな団体の方と顔見知りになれるのでありがたいです。
- ・自分の意見や思いを吸い上げて下さり発表していただいたので嬉しかったです。
- ・他のグループの意見もきけて参考になった。
- ・聴覚障害の方々が多数のテーブルであったが、この方々の考えに接する機会があってよかった。
- ・情報を仕入れたり自分も知っている情報を発信できた。
- ・話し合いのテーマが難しかったです。他の方の意見、とても参考になり、もっと話したいと思いました。
- ・なごやかに進行され意見もたくさん出て良かったです。
- ・もっと当事者の方が参加できるようなところ（取り組み）があればと思いました。
- ・初めて参加させていただき皆様の希望ある意見にうれしく思いました。
- ・こういった機会は、もっと多くの方が参加できると（参加してもらえると）障害者への理解も深まるのではと思いました。
- ・差別にあたるかどうかを明確にするような取り組みといったような内容で情報交換（話し合い）ができればと考えているところです。
- ・ネーミングや案内から想像していた会とは違っていた。初参加者には敷居が高い感じでした。勉強してから次回は参加したいです。
- ・土日に用があつたり平日は仕事だったりするとなかなか参加したくても難しいことがありますので、仕事が終わってからの時間帯（夜など）にも設定を考えていただけるとうれしく思います。
- ・せつかく市民参加なので公募の仕方がもっと一般の目に届くところにするべき。趣旨がもっと明確で何をするのかわかるようにしてもらえると参加しやすいと思う。

(5) 第11回以降のコロン・カフェ実施予定

	日 時	場 所	人数
第11回	平成27年8月7日(金) 10:00~12:00	宮城野区役所 6階ホール (JR陸前原ノ町駅隣)	50名 程度
第12回	平成27年8月9日(日) 14:00~16:00	仙台市役所本庁舎 8階ホール	70名 程度
第13回	平成27年10月13日(火) 14:00~16:00	仙台市急患センター・仙台市医師会館5階研修室 (地下鉄河原町駅下車徒歩3分)	50名 程度



宮城野区役所  
宮城野区五輪二丁目 12-35



仙台市急患センター・仙台市医師会館  
仙台市若林区舟丁 64-12

<参考>

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ  
「ココロン・カフェ」実施状況

	日時	場所	テーマ	参加者数
1	平成 26 年 10 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害ってなあに？	43 名
2	11 月 23 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害ってなあに？	69 名
3	平成 27 年 1 月 27 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	46 名
4	3 月 1 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	74 名
5	4 月 19 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	条例の理念について考えよう	42 名
6	4 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	条例の理念について考えよう	75 名
7	6 月 10 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台市職員研修所 2 階大研修室	差別解消のためのアイデア を出しあおう	43 名
8	6 月 13 日 (土) 14 : 30 ~ 16 : 30	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	差別解消のためのアイデア を出しあおう	55 名
9	7 月 6 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	差別に関する相談について考 えよう	72 名
10	7 月 18 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市立病院 3 階講堂	差別に関する相談について考 えよう	61 名
計				580 名